

総合開会式における入場行進の審査について

審 査 委 員 会

1 入場行進優秀校（優秀校14校、参加校83校）

高崎健康福祉大学高崎高等学校	(32年連続32回目)
吾妻高等学校	(29年連続30回目)
伊勢崎清明高等学校	(2年連続25回目)
前橋商業高等学校	(3年連続24回目)
共愛学園高等学校	(4年連続9回目)
東京農業大学第二高等学校	(7年連続7回目)
前橋市立前橋高等学校	(2年連続6回目)
前橋東高等学校	(23年ぶり6回目)
前橋高等学校	(3年連続5回目)
沼田女子高等学校	(2年連続3回目)
四ツ葉学園中等教育学校	(3年連続3回目)
前橋工業高等学校	(3年ぶり3回目)
渋川高等学校	(8年ぶり3回目)
桐生第一高等学校	(初)

2 総 評

総合開会式における入場行進等の優秀校の審査は、昭和61年度第21回大会から実施され、今回で32回目を迎えた。各学校における日常の集団行動の学習成果が十分に発揮され、特にここ数年全体のレベルが向上し、技量も拮抗してきている。高校生らしい、明るくはつらつとした行進が多く見られ、入場行進優秀校は14校であった。

優秀校について、連続受賞は10校、返り咲き受賞は3校、初受賞は1校である。なお、本年度特筆された優秀校は、吾妻高等学校、伊勢崎清明高等学校、沼田女子高等学校、前橋高等学校、前橋商業高等学校、前橋市立前橋高等学校の6校である。

県高校総体の趣旨を理解し、充実した開会式ができるよう今後とも各学校の御尽力をお願いしたい。